

今期業況天気図

今期業況天気図

期間:令和2年7月～9月(売上・採算・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

全業種総合の天気図は「雨」。推移をみると、令和2年7月～9月期の総合業況DIは▲52と、前期▲57から5ポイントの改善。前期の「雨」のまま改善した。業種別では、製造業が3ポイントの悪化であったが、飲食業・サービス業が10ポイント、小売業・卸売業が9ポイントと大きく改善し、建設業も3ポイントの改善であった。いったん業況は下げ止まったといえるが、DIは依然として▲40～▲60の低位に留まり厳しい状況は続いており、すべての業種で「雨」が続いている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 58	▲ 75	▲ 53	▲ 49	▲ 53
採算	▲ 55	▲ 65	▲ 55	▲ 49	▲ 51
仕入単価	▲ 21	▲ 18	▲ 25	▲ 33	▲ 16
販売単価	▲ 17	▲ 19	▲ 23	▲ 8	▲ 18
従業員	5	▲ 11	22	2	8
資金繰り	▲ 32	▲ 38	▲ 27	▲ 29	▲ 33
今期業況 (総合判断)	▲ 52	▲ 63	▲ 47	▲ 43	▲ 50
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					<<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
快晴  DI値 31以上	晴れ  DI値 30～11	薄曇り  DI値 10～▲10	小雨  DI値 ▲11～▲30	雨  DI値 ▲31以下	

参考)今期業況天気図の推移

	全産業	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
3四半期前 令和1年10月～ 12月期					
2四半期前 令和2年1月～ 3月期					
1四半期前 令和2年4月～ 6月期					
今期 令和2年7月～ 9月期					

次期見通し業況天気図

次期見通し業況天気図

令和2年10月～12月(売上・採算・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は今期に引き続き「雨」。

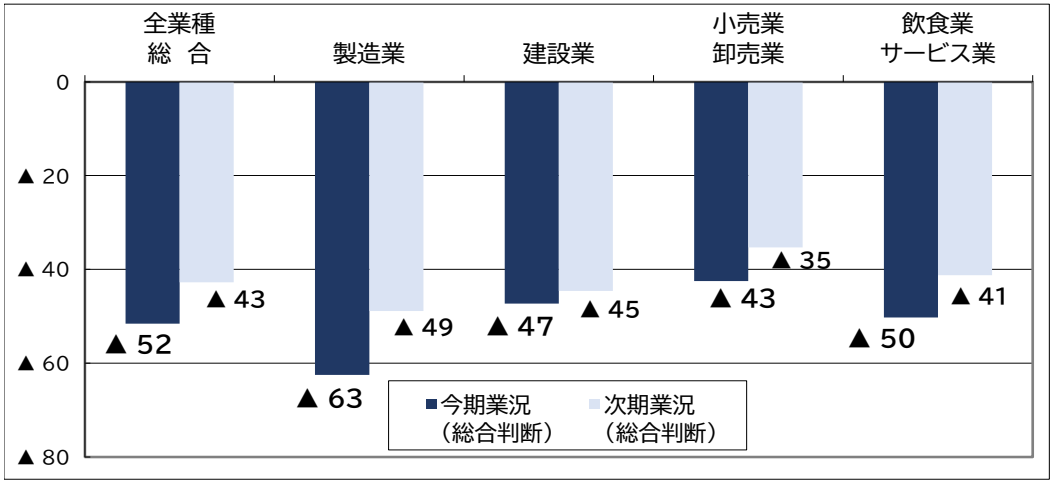
産業別にみると、製造業が14ポイントと大幅な改善を見込み、飲食業・サービス業が9ポイント、小売業・卸売業も8ポイントの改善の予想である。他の業界に比較してDIの低下が遅くなった建設業は回復も遅れ2ポイントの改善に留まる見通しである。

今期と次期を産業別に比較すると、今期▲63と非常に深刻な状況におかれた製造業については次期は改善に向かうと期待されている。今期から回復基調にある小売業・卸売業および飲食業・サービス業についても、次期も引き続き改善が続くことを見込んでいる。民間・公共の両分野で需要が冷え込む建設業は、回復が遅れる見通しである。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲42	▲48	▲45	▲33	▲40
採算	▲42	▲49	▲47	▲35	▲38
仕入単価	▲20	▲15	▲26	▲34	▲16
販売単価	▲18	▲20	▲25	▲4	▲18
従業員	6	▲6	21	1	10
資金繰り	▲32	▲35	▲35	▲25	▲32
次期業況 (総合判断)	▲43	▲49	▲45	▲35	▲41
次期業況 天気図					

業況天気図凡例					<<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
快晴	晴れ	薄曇り	小雨	雨	
					
DI値 31以上	DI値 30～11	DI値 10～▲10	DI値 ▲11～▲30	DI値 ▲31以下	

参考) 今期と次期の業況DI



業況DIの推移

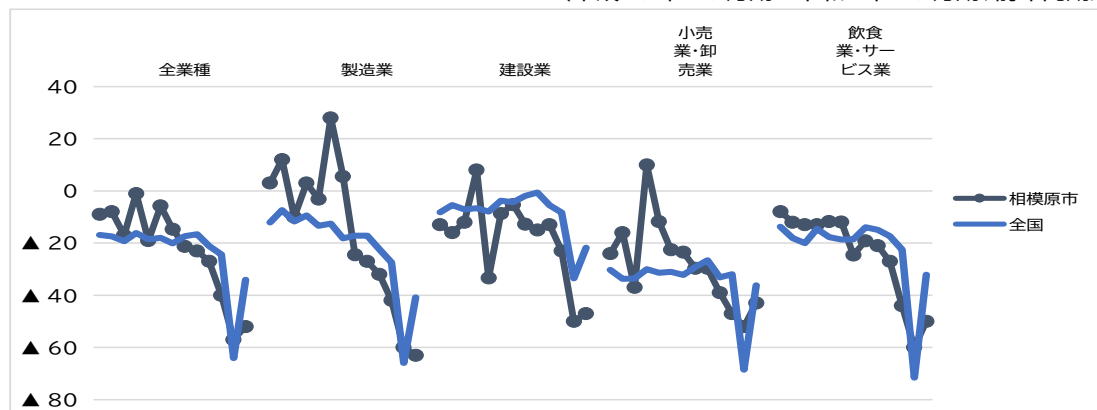
業況DI(前年同期比)の推移

全産業の業況DIは、前期▲57から▲52(前期差5ポイント増)と若干持ち直している。
産業別にみると、落ち込みが続いた製造業は▲63(前期差3ポイント減)だった。前期にコロナウイルスの影響が深刻だった飲食業・サービス業は▲50(前期差10ポイント増)、小売業・卸売業も▲43(前期差9ポイント増)となり、業況の悪化は一旦底を打った状況である。建設業は▲47(前期差3ポイント増)とほぼ前期と変わらぬ業況でった。

コロナウイルス感染症の拡大の勢いが収まりつつあり、GoToトラベル、GoToイートなどの経済対策が、ある程度効果を上げ始めたものと思われる。それらの施策の対象外となっている製造業は、依然として、景況の落ち込みが続いている模様である。

全国との比較では、いずれの業種も全国のほうが景況の回復が早く、市内の事業者のほうが動きが遅い。とはいえ、市内・全国ともに景況DIはまだまだ低位にあり厳しい状況が続いている。

(平成29年7-9月期～令和2年7-9月期、前年同期比)

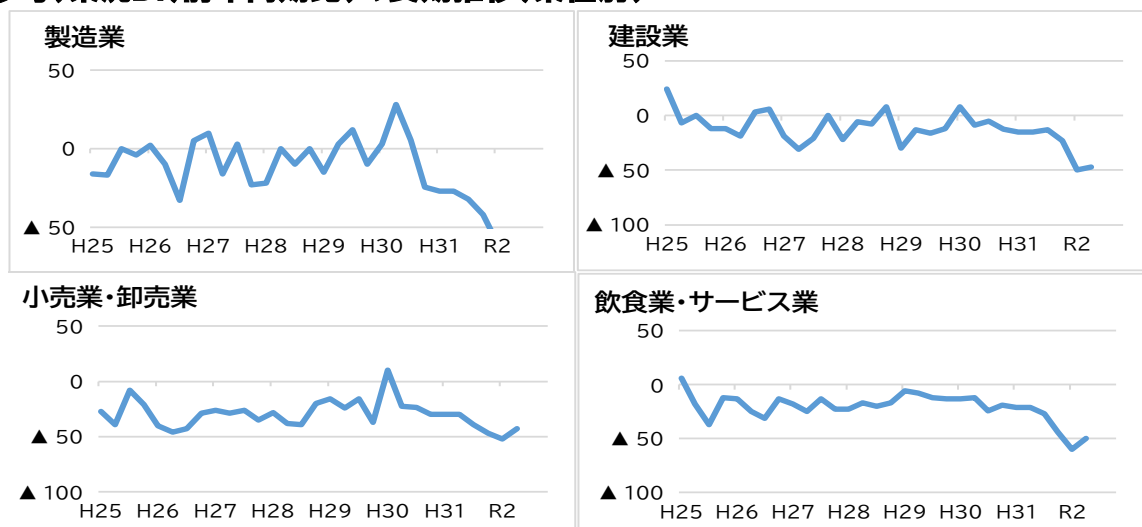


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「業況判断 DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※業況DIについて、当所では「総合判断」、中小企業庁は「業況(自社)」を質問項目としている

参考)業況DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



業況DI（特徴的なトピックス）

産業別に寄せられた特徴的なトピックスは以下のとおりである。

【製造業】

- ・3月～5月の工事代売上の減少は30%以上でした。8月もいつもいつもは設備関係の夏休み工事等あったのですが、得意先(自動車関係)の売上減少で受注がありませんでした。今期もまだ先行きは思わしくないようです。【工場総合設備、コンベアー】
- ・客先も先行き不安で、設備導入時期が先延ばしになっている、受注が減少している今、従業員の人数について不安を感じている。【超音波バリ取り洗浄装置】
- ・新型コロナウイルスで海外出張ができないため、受注した工事がキャンセルになった【超音波洗浄装置】
- ・相見積もりが多くなってきてかなり厳しい単価で見積りをしている。【真空装置の部品加工】

【建設業】

- ・コロナの影響により大口工事がなくなった。【建具工事業】
- ・工事量の減少と仕入単価の上昇による収益率の低下。【配管、電気工事全般】
- ・新型コロナウイルスによる工事遅延等による採算の悪化が考えられる。【電気設備工事】
- ・新型コロナウイルスのことで(住みながらの)リフォームを断られる件。【住宅建築、材木販売】

【小売業・卸売業】

- ・コロナウイルス感染症による特需。【生鮮品・食品取扱いのスーパーマーケットチェーン経営】
- ・新型コロナウイルスで注文が激減。大変です。【花店】
- ・新型コロナウイルスによる夏物商品の不調(花火、ウォーターガン等)。【玩具店】
- ・生活様式の変化で洋服の優先順位が消費の中でさらに下がった。【スーツの販売】
- ・来店増加。対前年はオーバーしている。【自動車ディーラー】

【飲食業・サービス業】

- ・GoTo キャンペーンによる立替金による資金調達が大変。制度がひどすぎる。これでは利益が出ない。【旅行代理店】
- ・テレワークの急速な導入に伴うひずみ(人間関係構築の難しさなど)。【ソフトウェア製造】
- ・ネットを通じて、これまで商圈に設定していた最寄り駅周辺ではなく車や電車等で来るお客様が増加した。【理容業】
- ・会社の資金繰りのため、自社不動産の売却が増加している。【不動産仲介、コンサルタント】
- ・新型コロナウイルスのせいで外出を控え、外出用の衣服を身につけず、サラリーマンは自宅で仕事をしていますので、クリーニングする Y シャツやスーツなど出してくれません。とにかく暇です。【一般衣服クリーニング】
- ・単なる清掃作業ではなく、除菌清掃という作業に需要がある。【ビルメンテナンス業(清掃、設備保守)】

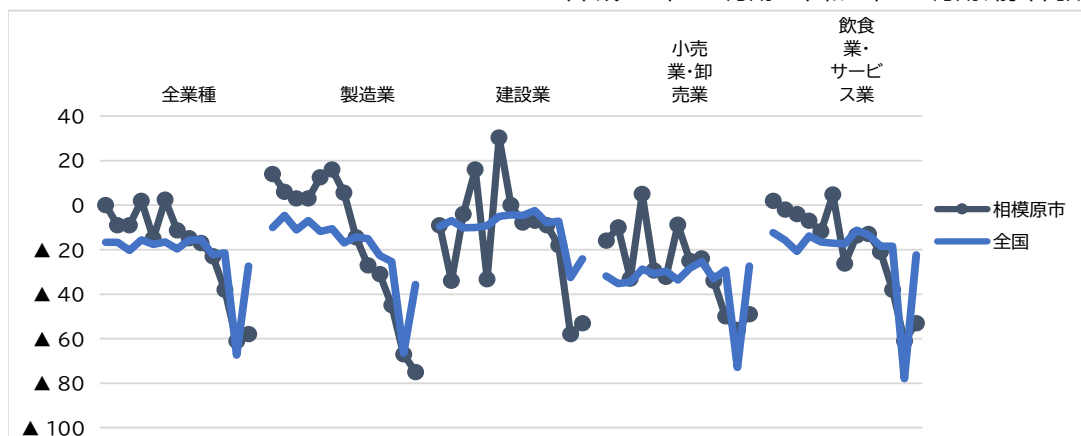
売上DI(前年同期比)の推移

全産業の売上DIは、前期▲61から▲58(前期差3ポイント増)と、下げ止まった。
産業別にみると、引き続き落ち込んだのが製造業で▲75(前期差8ポイント減)であった。
飲食・サービス業は▲53(前期差8ポイント増)、小売業・卸売業は▲49(前期差7ポイント増)、建設業は▲53(前期差5ポイント増)で、やや改善した。

製造業のDIは前期に引き続き下落が続く最悪に近い状況である。建設業は、公共・民間需要とともに冷え込んでいる状況が続く。景気対策が実施されつつある飲食業・サービス業ではやや消費マインドが回復しつつあり、街に徐々に人出が戻ってきたことで小売業・卸売業も回復の兆しが見えつつある。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、前回は当市のほうがDIが高かった小売業・卸売業と飲食業・サービス業で、全国値が大きく回復した。全産業にわたって当市の回復の遅れが目立ってきている。

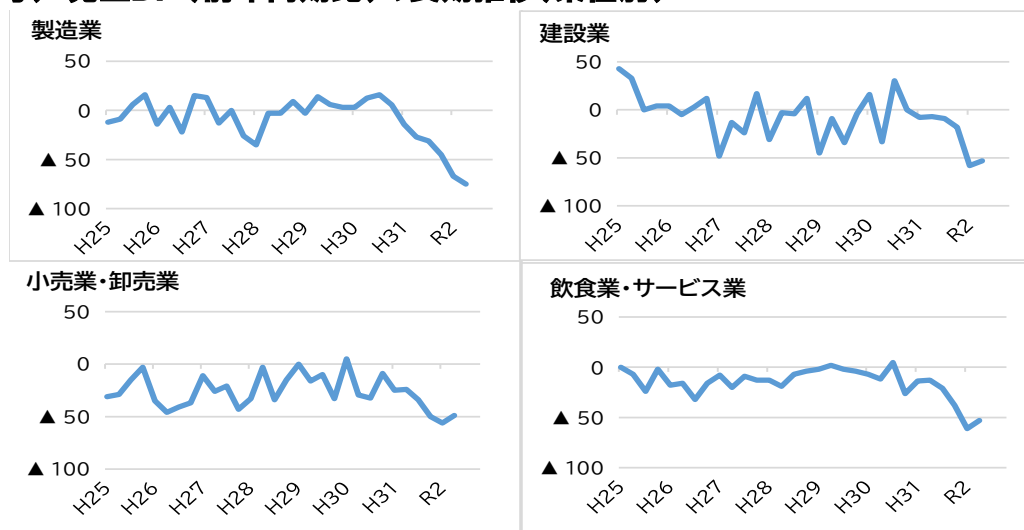
(平成29年7-9月期～令和2年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「売上額DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 売上DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



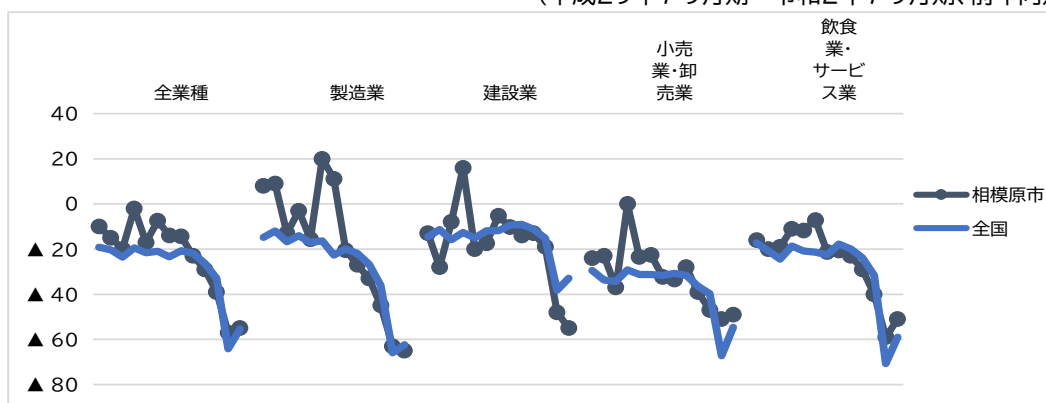
採算DI(前年同期比)の推移

全産業の採算DIは、前期▲57から▲55(前期差2ポイント増)と、1年以上続いた低下傾向に歯止めがかかった状況である。

産業別にみると、ポイント数では建設業が▲55(前期差7ポイント減)、製造業が▲65(前期差2ポイント減)と、ペースは緩やかになったものの減少が続いている。飲食業・サービス業が▲51(前期差8ポイント増)、小売業・卸売業が▲49(前期差2ポイント増)は、消費活動が徐々に戻ってきたことによる売上の回復により、改善傾向がみられる。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、当市の建設業の業況悪化が目立つ。その他の業種では全国と同様の動きを示している。

(平成29年7-9月期～令和2年7-9月期、前年同期比)

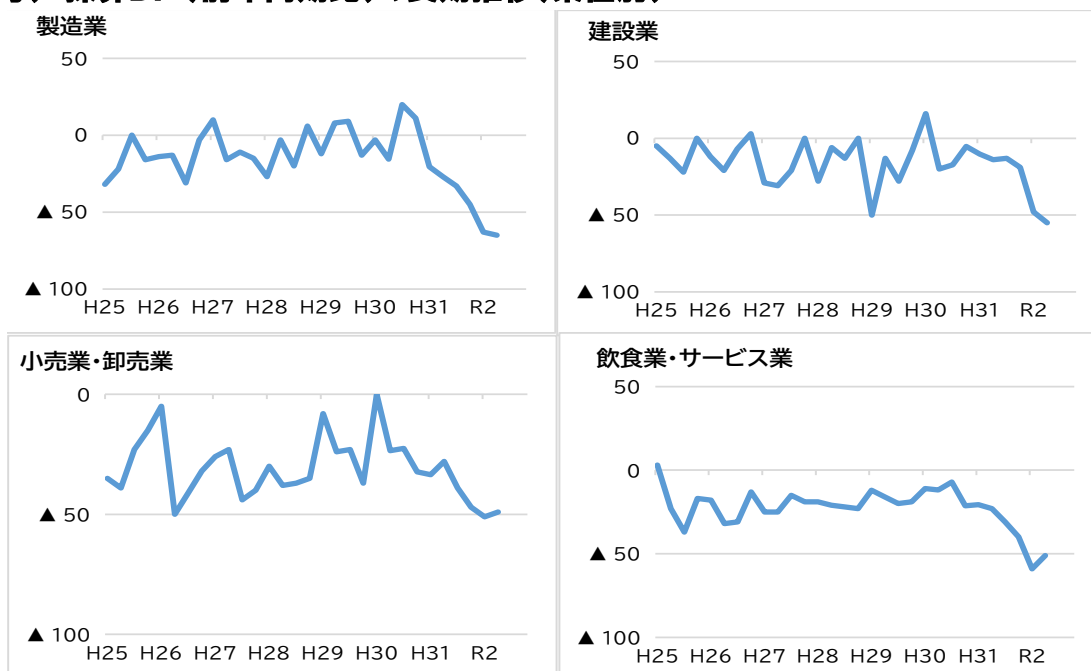


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※採算DIについて、当所では「採算」、中小企業庁は「経常利益」を質問項目としている

参考) 採算DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



従業員DIの推移

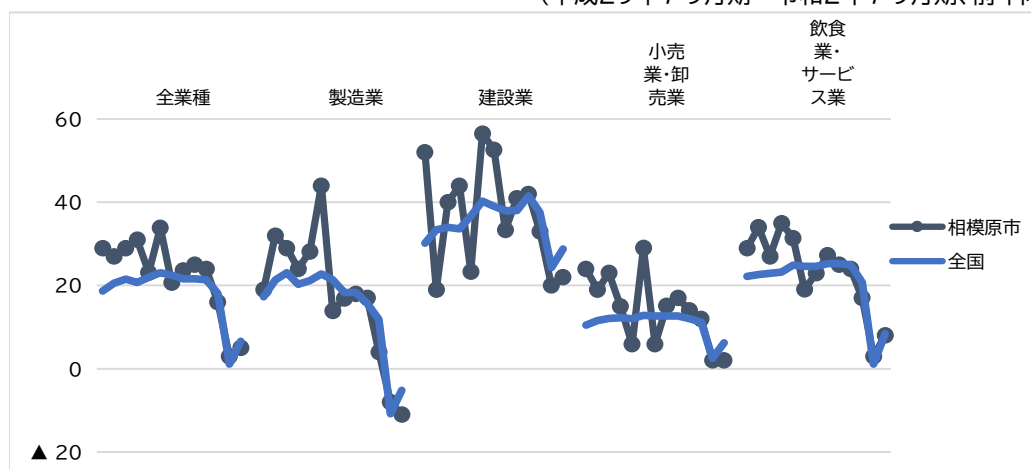
従業員DI(前年同期比)の推移

全産業の従業員DIは、前期3から5(前期差2ポイント増)になり、前期からの、人手不足がほぼ解消し人材の需給バランスがとれた状態が続いている。

産業別では、製造業は▲11(前期差3ポイント減)と人員の余剰感が増しており、売上DIの悪化にみられる受注の悪化を反映した結果となっている。飲食業・サービス業が8(前期差5ポイント増)、小売業・卸売業が2(前期差±0ポイント)であり、売上の回復に伴いDIは下げ止まった。建設業では、DI値が22(前期差2ポイント増)と慢性的な人手不足は解消されていないが、受注環境の悪化が続いていることを考えると今後DIが低下する可能性がある。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、全業種において、ほぼ同様の傾向・同様のDI値となった。

(平成29年7-9月期～令和2年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「従業員数過不足DI」を使用。

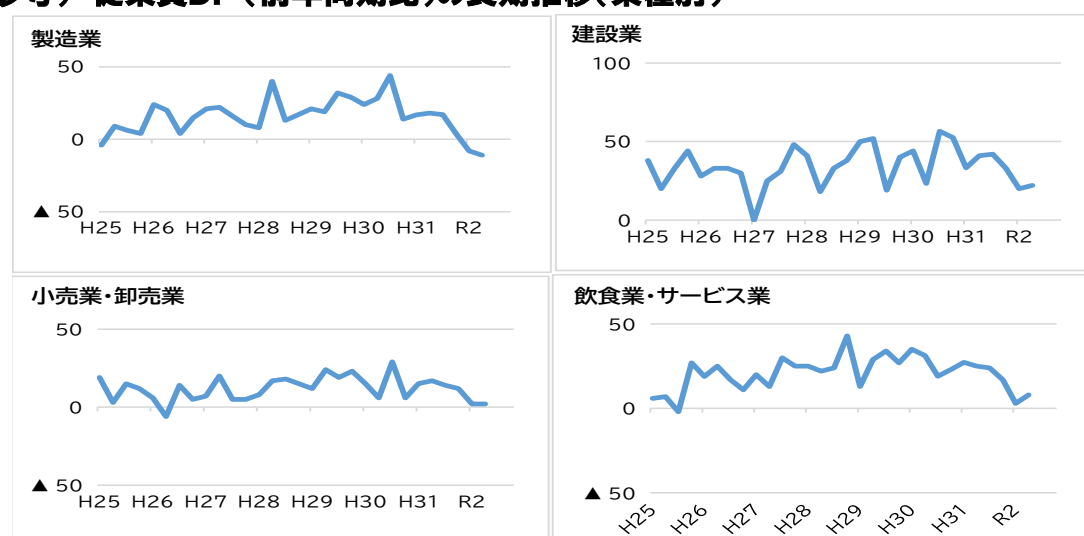
※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※従業員DIについて、当所では「前年同期比」、中小企業庁は「今期の水準(過去との比較ではない)」を調査

※従業員DIについて、当所では「DI=不足ー過剰、中小企業庁は「過剰ー不足」で算出。

比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 従業員DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



資金繰りDIの推移

資金繰りDI(前年同期比)の推移

全産業の資金繰りDIは、前期▲41から▲32(前期差9ポイント増)で、前期から大きく改善した。

産業別にみると、飲食業・サービス業は▲33(前期差12ポイント増)を始めとして、小売業・卸売業で▲29(前期差9ポイント増)、建設業は▲27(前期差6ポイント増)、製造業は▲38(前期差4ポイント増)と、いずれの業界も資金繰りが改善した。公的な資金繰りの緊急支援などが効果を上げているものと思われる。

今後については、製造業・建設業は受注環境が回復していない状況を踏まえると、まだまだ楽観はできない。サービス業・飲食業と小売業・卸売業についても、売上は回復基調にあるものの、前年同期比ではまだマイナスが続いている事業者が大半であり、中長期において返済負担が重くのしかかってくる可能性がある。

産業別に当市の今期の数値を全国値と比較すると、建設業では全国よりも悪い状況が続いている。それ以外の業種は全国と同様の動向である。

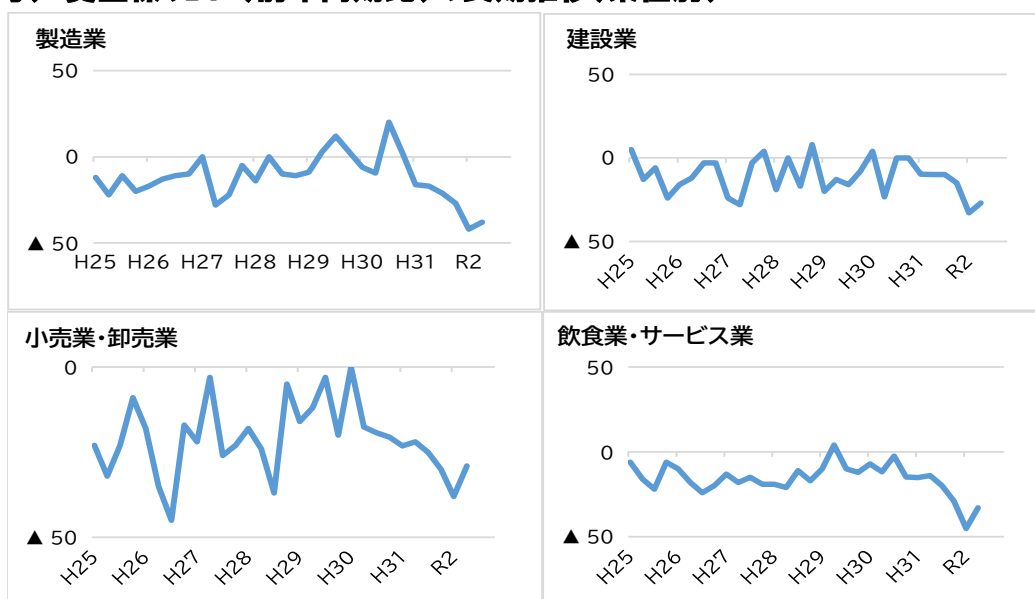
(平成29年7-9月期～令和2年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 資金繰りDI(前年同期比)の長期推移(業種別)



仕入単価DIの推移

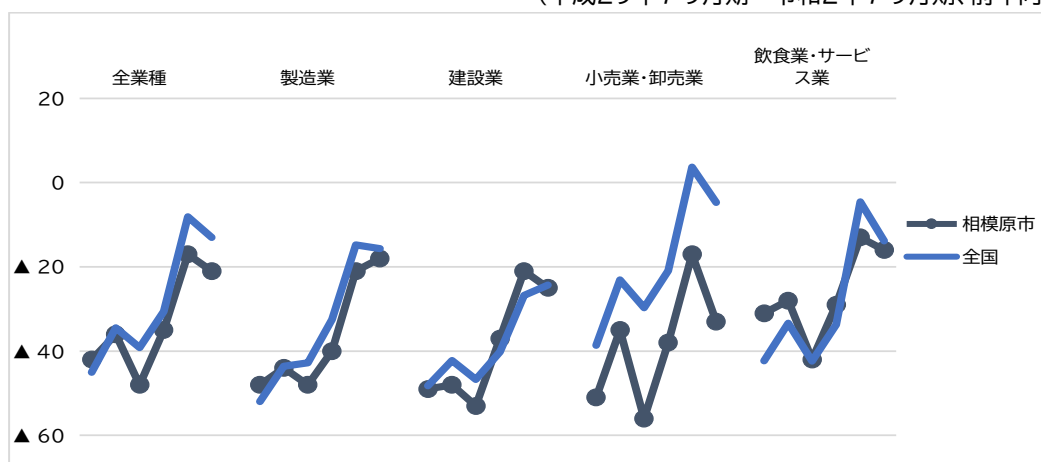
仕入単価DI(前年同期比)の推移

全産業の仕入単価DIは、前期▲17から▲21(前期差4ポイント減)と、やや下落した。

産業別にみると、小売業・卸売業の▲33(前期差16ポイント減)で大きく下落し、建設業は▲25(前期差4ポイント減)、飲食業・サービス業は▲16(前期差3ポイント減)とやや下落した。一方、製造業は▲18(前期差3ポイント増)とやや増加している。小売業・卸売業では新型コロナウイルスによる一部商品のモノ不足が解消された反面、消費がまだ戻っていない状況で価格が下がっているものと思われる。建設業・製造業では仕入単価の変動は少なく、受注減少に伴う生産調整により供給側の調整が進んでいるものと想定される。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、数値の増減は全国と同じ傾向を示しているが、小売業・卸売業では全国との乖離が大きく、市内では仕入単価の低下が続いている。

(平成29年7-9月期～令和2年7-9月期、前年同期比)



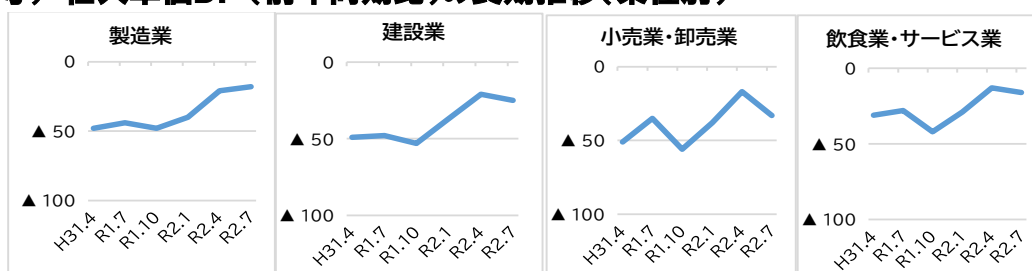
※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「原材料・商品仕入単価DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※仕入単価DIについて、当所では「DI=下落—上昇、中小企業庁は「上昇—低下」で算出。

比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 仕入単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



販売単価DI(前年同期比)の推移

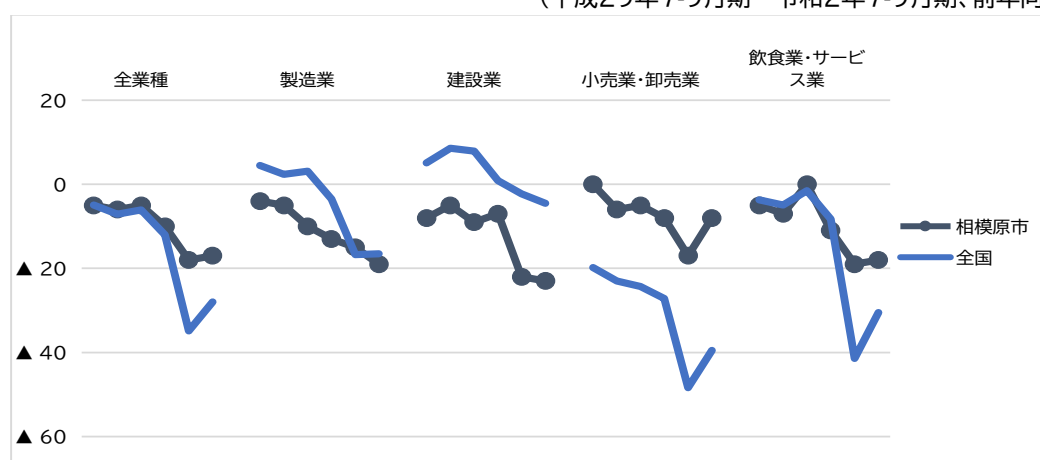
全産業の販売単価DIは、前期▲18から▲17(前期差1ポイント増)と、ほぼ変わらなかった。

産業別にみると、製造業は▲19(前期差4ポイント減)でやや下落したが、建設業は▲23(前期差1ポイント減)、飲食業・サービス業が▲18(前期差1ポイント増)と大きな変動がなかった。小売業・卸売業は▲8(前期差9ポイント増)と増加した。

小売業・販売業では昨年の消費増税以降は下落が続いていたが、ここで下げ止まった感がある。業種により状況は異なるものの全体的には消費者の購買行動は戻りつつあり商品の供給も安定してきているものと思われる。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、全国においては飲食業・サービス業のDIの増加がみられたが、当市ではあまり変化がない。

(平成29年7-9月期～令和2年7-9月期、前年同期比)

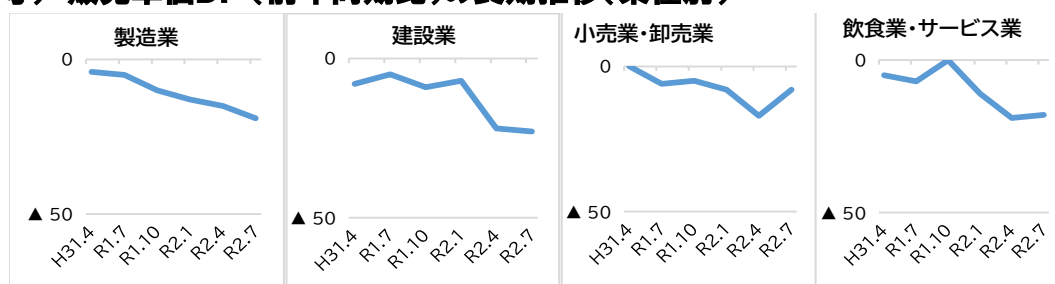


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「原材料・商品仕入単価DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※建設業については、全国値は日本商工会議所「早期景気観測商工会議所 LOBO/建設業令和2年9月」分類の値を使用

参考) 販売単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



集計表(景気観測調査)

			今期(R2.7～R2.9)				次期見通し(R2.10～R2.12)			
			売上:増加 採算、資金、総合: 好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算、資金、総合: 悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値	売上:増加 採算、資金、総合: 好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算、資金、総合: 悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値
製造業	売上	サンプル数	15	36	213	264	34	68	162	264
		構成比	6	14	81	▲75	13	26	61	▲48
	採算	サンプル数	15	62	187	264	28	79	157	264
		構成比	6	23	71	▲65	11	30	59	▲49
	仕入単価	サンプル数	11	195	58	264	10	204	50	264
		構成比	4	74	22	▲18	4	77	19	▲15
	販売単価	サンプル数	4	205	55	264	1	208	55	264
		構成比	2	78	21	▲19	0	79	21	▲20
	従業員	サンプル数	22	192	50	264	21	207	36	264
		構成比	8	73	19	▲11	8	78	14	▲6
	資金繰り	サンプル数	11	142	111	264	8	156	100	264
		構成比	4	54	42	▲38	3	59	38	▲35
業況	サンプル数	10	79	175	264	20	95	149	264	
	構成比	4	30	66	▲63	8	36	56	▲49	
建設業	売上	サンプル数	14	58	112	184	18	65	101	184
		構成比	8	32	61	▲53	10	35	55	▲45
	採算	サンプル数	8	66	110	184	11	76	97	184
		構成比	4	36	60	▲55	6	41	53	▲47
	仕入単価	サンプル数	6	126	52	184	3	130	51	184
		構成比	3	68	28	▲25	2	71	28	▲26
	販売単価	サンプル数	2	138	44	184	5	128	51	184
		構成比	1	75	24	▲23	3	70	28	▲25
	従業員	サンプル数	48	129	7	184	46	130	8	184
		構成比	26	70	4	22	25	71	4	21
	資金繰り	サンプル数	12	110	62	184	5	109	70	184
		構成比	7	60	34	▲27	3	59	38	▲35
業況	サンプル数	7	83	94	184	9	84	91	184	
	構成比	4	45	51	▲47	5	46	49	▲45	
小売業・卸売業	売上	サンプル数	25	35	107	167	24	64	79	167
		構成比	15	21	64	▲49	14	38	47	▲33
	採算	サンプル数	18	50	99	167	17	75	75	167
		構成比	11	30	59	▲49	10	45	45	▲35
	仕入単価	サンプル数	3	106	58	167	1	109	57	167
		構成比	2	63	35	▲33	1	65	34	▲34
	販売単価	サンプル数	19	116	32	167	21	118	28	167
		構成比	11	69	19	▲8	13	71	17	▲4
	従業員	サンプル数	17	137	13	167	14	141	12	167
		構成比	10	82	8	2	8	84	7	1
	資金繰り	サンプル数	11	97	59	167	8	109	50	167
		構成比	7	58	35	▲29	5	65	30	▲25
業況	サンプル数	14	68	85	167	12	84	71	167	
	構成比	8	41	51	▲43	7	50	43	▲35	
飲食業・サービス業	売上	サンプル数	55	98	291	444	57	152	235	444
		構成比	12	22	66	▲53	13	34	53	▲40
	採算	サンプル数	39	138	267	444	48	180	216	444
		構成比	9	31	60	▲51	11	41	49	▲38
	仕入単価	サンプル数	16	341	87	444	10	352	82	444
		構成比	4	77	20	▲16	2	79	18	▲16
	販売単価	サンプル数	20	325	99	444	20	324	100	444
		構成比	5	73	22	▲18	5	73	23	▲18
	従業員	サンプル数	69	341	34	444	66	355	23	444
		構成比	16	77	8	8	15	80	5	10
	資金繰り	サンプル数	26	246	172	444	18	266	160	444
		構成比	6	55	39	▲33	4	60	36	▲32
業況	サンプル数	27	167	250	444	35	191	218	444	
	構成比	6	38	56	▲50	8	43	49	▲41	
全業種 総 合	売上	サンプル数	109	227	723	1059	133	349	577	1059
		構成比	10	21	68	▲58	13	33	54	▲42
	採算	サンプル数	80	316	663	1059	104	410	545	1059
		構成比	8	30	63	▲55	10	39	51	▲42
	仕入単価	サンプル数	36	768	255	1059	24	795	240	1059
		構成比	3	73	24	▲21	2	75	23	▲20
	販売単価	サンプル数	45	784	230	1059	47	778	234	1059
		構成比	4	74	22	▲17	4	73	22	▲18
	従業員	サンプル数	156	799	104	1059	147	833	79	1059
		構成比	15	75	10	5	14	79	7	6
	資金繰り	サンプル数	60	595	404	1059	39	640	380	1059
		構成比	6	56	38	▲32	4	60	36	▲32
業況	サンプル数	58	397	604	1059	76	454	529	1059	
	構成比	5	37	57	▲52	7	43	50	▲43	

集計表(トピックス)

製造業
大手企業が内需に入っている。大型案件はなく小規模の依頼になっている。【断熱ファインジジャケット】
3月～5月の工事代売上の減少は30%以上でした。8月もいつもいつもは設備関係の夏休み工事等あったのですが、得意先(自動車関係)の売上減少で受注がありませんでした。今期もまだ先行きは思わしくないようです。【工場総合設備、コンベアー】
4月～8月の売上平均は前年比25%減少。耐えるのみ。【機械加工】
4月～9月は新型コロナウイルスの影響もあり半減のレベル。10月以降は昨年には届かないが徐々に回復。発注先もオンライン対応等により生産力低下。【電子機器製造(業務用放送設備機器設計、製造)】
6月～8月のみでも受注量80%減。9月以降も少しは戻りつつあるものの、50%以上減と思われる。【大型機械加工】
7月より受注状況は回復基調となり、下半期(10月～R2.3月)は受注増の内示がある。同業他社の業況は不明。【輸送用機器部品製造】
7月以降目立って受注が減少した。取引先からも仕事がないかの問い合わせが増加した。【電子回路基板設計、製造、販売】
BCP対策への余裕がない。【ボルト、ねじ製造】
COVID-19の終息遅延による景気後退の長期化。【電子応用装置設計、製造】
アパレル店減少。【店舗用什器製作(家具)】
イベント関係がお得意先のため、不況に特に響く。【防災加工業】
イベント中止等【不織布製品の加工製造販売】
うちの誰かが新型コロナウイルスに感染したら終わるとヒヤヒヤしている。【電気、機械の設計製作】
オンライン打ち合わせが増えた。【電子機器設計・製造・販売】
お盆明け以降急激に悪化。【板金業】
コロナウイルスにおける受注減、案件先送りはあるが、影響は大きくはない。【工場生産設備の設計製作、制御盤等設計製作】
コロナウイルス感染症の影響で、外出者が減り売り上げが下がったお店もあり、既存のお客様は全体で売上減少となっております。しかし新規が獲得できたため昨対とほぼ変わらずです。小売店の業態による売り上げ増減が顕著に出ています。今年は海外に力を入れ海外の売り上げ増やそうと思いましたが、海外出張ができず国内だけで売り上げが上がるか疑問です。【組紐製造及び装粧品製造・卸】
コロナで世界的に不景気。【ロータリーエンコーダ及びダイレクトドライブモータの製造・販売】
コロナの早期収束。【電池部品(樹脂部品)の製造】
コロナ禍で営業活動ができないのが現状で、今後の不安である。【テーブルポット溶接機の製造、販売、メンテナンス業】
コロナ禍において、工事等動きが鈍い。(マインドの問題か?)【建設基礎機械製造、修理】
コロナ禍による景気への影響が少しずつ出てきている。【精密板金】
コロナ禍による経済活動の制限と経済動向。【除振台、防振装置、除振防振工事、除振コンサル、振動測定および解析】
コロナ不況【金属表面処理の受託加工】
海外向け製品の停滞。【金属部品加工】
企業の設備投資の鈍化。【省力装置・溶接治具などの設計製作】
企業様の仕事の低迷が目立つ。【畳製造業】
技術力のある顧客は元気だが少ない。この先技術開発先行企業しか生き残れないと思う。【航空機部品産業用ロボット部品半導体部品】
客先の自粛やテレワークにより、仕事の動きがかなり鈍い。客先の動きがない。【金属製品製造】
客先の売上不振による受注量の急降下。【金属部品機械加工】
客先も先行き不安で、設備導入時期が先延ばしになっている。受注が減少している今、従業員の人数について不安を感じている。【超音波バリ取り洗浄装置】
求人募集に対する応募の鈍化。【精密板金業】
業務筋(レストラン、ホテル、居酒屋)の受注の減少。【水産総菜類、寿司種等の製造販売】
景気の底。年内は変化なし。【工業用中性紙の再生】
景気の流れが読めない。【金属加工(トラック、建機のハブ、ドラム、ハブドラム)】

見通しに不安。【金属製品加工】
顧客のテレワークの影響で次の案件がなかなか進まない。試作品等の検証が進まない。【光学レンズの設計製造販売】
今後のコロナによる影響が全く読めない。【工業塗装(金属焼付塗装)】
今後の不透明感の不安やコロナ禍の不安での購買意欲の低下。【段ボール製函紙器一式・梱包資材製造販売】
昨年は消費税増税前の駆け込み需要があった影響、本年はコロナの影響で今年度は確実に売上が落ち込むと思われます。【畳製作】
昨年度から最低賃金上昇を理由に、販売単価の見直しを行い、取引先に了解していただいていたのでなんとか採算が取れている状況。今までパート・アルバイトの応募が少なく、日雇派遣を利用していたが、コロナ禍の状況で思い切って時給を上げ従業員を増やすことができた。【文具製品、医療機器、化粧品など各種製品の検査包装の受託加工】
産業界の動向【EMS(電子機器の受託生産サービス)】
仕事量の激減。【コピー機部品、カメラ部品、エアコン機部品】
市場の低迷が感じられる。【金属部品加工】
市内業者育成のため、市内リフト製造者を優先的に取り扱うようなシステムづくり。(市が使っているリフトは市外業者)【トラック等リフト、車いすリフト等】
自粛ムードで仕事発注も自粛感があるのではないかと。【印刷全般】
自動車、建材の仕事量が1/2程度の取引が多い。【プラスチック押出成形用引取機、切断機の製造販売および機械修理】
自動車の販売低迷。【工具製造】
自動車業界は見通し暗いが、物流業界は明るい。【産業用ロボット制御設計、制御盤製作】
質(技術)の高い従業員が不足。オペレーター作業等のマニュアル化された従業員は足りている。【建設機械部品の製造販売】
取引先担当者(技術系)のリモートワークによりコミュニケーションが取りづらい。【電気設計、ソフトウェア設計および製造(産業用機械)】
受注の延期件数が多い。【省力化機器の設計、製造】
受注の減少。【金属加工業】
受注の減少。【印刷】
受注の減少がいつまで続くかが不透明。【溶接板金、精密板金加工】
受注額の低迷【プラスチック成型用金型の設計および製造】
受注件数減少・納期繰り下げ。【建設機械部品加工】
受注減【産業機械組立(ダイカスト)】
受注減。雇用状況。【産業機械組立(ダイカスト)】
受注減少【ポンプベース、製品(溶接)】
受注残により仕事量はキープしていたが、今後新型コロナウイルスの影響あり。【機械部品製作】
受注生産だが決まりが悪く、先行きが見えず不安。【金型製造】
受注先の企業が海外輸出が多いが、新型コロナウイルスにて減少しています。【プラスチック樹脂系の加工、切削等】
受注量が低下したまま。【生産設備機器製造】
受発注の状況。【ケーブル加工】
従来の取引先からの受注が大幅に減少している。【製造装置の設計、製作金属部品の切削加工】
消費の減。【脱酸素剤、不織加工、医薬部外品他】
新規モデルの案件減少が著しい。【工業用デザインモデルの製造】
新規開発品の量が低下していて先行きが不安。【プラスチック製品製造】
新規受注が決まり、7月、8月と売上増ですが、その受注は9月、10月とはなくなり、10月以降にまた再開の予定。【精密機械部品加工】
新型コロナウイルスで海外出張ができないため、受注した工事がキャンセルになった。【超音波洗浄装置】
新型コロナウイルスで仕事減少。【ケーブル加工、制御盤の製作】
新型コロナウイルスにより教育施設等の受注変動があり、不透明となっている。【人工大理石加工製造業】
新型コロナウイルスにより受注延期。【省力機械、治具製作、部品加工】

新型コロナウイルスによる影響。【発泡スチロール加工販売】
新型コロナウイルスによる景気の低迷。【コネクタ、マスク】
新型コロナウイルスによる景気悪化。【電気機械器具製造業】
新型コロナウイルスによる自動車減産の影響が継続。【電気機械製造】
新型コロナウイルスによる受注の低迷。【電気計測器製造】
新型コロナウイルスによる先行きの不透明感で設備投資の減少。【橋形クレーン、天井クレーン製造、販売、レンタル】
新型コロナウイルスによる売上の大幅な減少。【工業用装置の開発、製造、販売】
新型コロナウイルスによる不況。【印刷業】
新型コロナウイルスの影響。【義肢・装具製造販売】
新型コロナウイルスの影響が取引先ごとに違う(8月からダウンや10月からダウン)ので、先が見えない。【自動車部品、板金、溶接】
新型コロナウイルスの影響が徐々にきている。【工業用銘板】
新型コロナウイルスの影響が大きい。【軽印刷業】
新型コロナウイルスの影響が大きすぎる。【制御盤の製作】
新型コロナウイルスの影響で営業できない。【電気工事】
新型コロナウイルスの影響で顧客の生産が低下しているのに伴い、検査装置の需要が減少している。【インサーキットテスター・インサーキットテストフィクスチャファンクションテスト開発、製造、販売】
新型コロナウイルスの影響で周りが動いていない。特に対策はしていない。【自動車制御装置の製作】
新型コロナウイルスの影響で低迷が続いている。【試作中心とした精密部品加工業】
新型コロナウイルスの影響により景気低迷。【金属精密加工】
新型コロナウイルスの影響により受注の減少。【印刷業(シール、ステッカー、金属パネル印刷、プラスチック印刷、銘板)】
新型コロナウイルスの影響により先行きが全く読めない。【金属製品製造業】
新型コロナウイルスの影響により売上高が大幅に減ったこと。【電子機器設計、製造、販売】
新型コロナウイルスの影響による売上の減少。【紙製ドラム製造販売】
新型コロナウイルスの影響による不況。【食品加工機械製造販売】
新型コロナウイルスの影響の見通しが読めず。【自動車用オイルフィルター、燃料フィルターのケーシング部品製造】
新型コロナウイルスの影響大。【金属加工】
新型コロナウイルスの感染拡大で一時期売上が大きく落ち込みましたが、徐々に回復傾向にあります。昨年の消費税率の実施前の駆け込み需要との比較では売上の落ち込みがありますが、10月以降は上昇に転ずると予想されます。【化粧品の製造および販売】
新型コロナウイルスの終息【金属加工業】
新型コロナウイルスの早期解消【各種試作品】
新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、受注が不振で先行きが見えず。【プリント基板の実装、組立】
新型コロナウイルス関係が引合い少ない。【真空、化学、宇宙機器の製作販売】
新型コロナウイルス対策を早く解消してほしい。【シャフト・フランジ・プランケット等】
新型コロナウイルス不況下で受注減。先行きの不透明感。【バルブ製造販売】
新型コロナウイルス蔓延に伴い、顧客の新規事業が見送りとなるなど、売上に影響を与えている。【粘着製品の加工・販売】
新型コロナの影響が見通せない。【自動車用オイルフィルター及び燃料フィルターのケーシング製造】
新型コロナの影響を受け大手からの受注が減っている。【電気機械器具製造】
この状況はまだまだ続くと思われるため、今期は我慢の時だと思っている【精密板金 試作板金 製缶 など】
生産計画、開発計画が全て白紙となり、受注計画が見通しが立たない。【工業用製品、開発、試作、製造業】
先が見えない。
先が見えない不安があります。【プリント基板設計、実装、再生】
先の見通しが立たないことが不安。【金属挽物加工、プラスチック成型、印刷加工】
先行きが不透明なこと。【ショットブラストおよび塗装】

先行き不安により消費が抑えられている。消費税撤廃を希望。【畳】
前年に比べて売上の減少率が大い。
全体的に世の中が止まっている。【機械加工】
早期の海外渡航可能に期待。【板金加工物の製造販売】
相見積もりが多くなってきてかなり厳しい単価で見積りをしている。【真空装置の部品加工】
大手主要受注先の年度計画の下振れの影響が続いている。【建設機械部品製造業、フォークリフト、ミニホイールローダー、産業機械】
大手取引先がコロナで停止してしまう不安。従業員のコロナ感染の不安。【トラックの新車架装・修理】
当社の顧客が新型コロナウイルスの影響を受け、今後の受注減になりそう。【電気通信機器】
売上の減少。【プレス製造販売】
売上の低迷。【角型紙管製造】
売上の低迷。閉塞感。生産性の向上の必要性。【シール剤、接着剤、その他工業用化学製品の生産、プレコート加工】
売上減少【印刷業】
売上減少(輸出関連)【ゴムパッキン加工】
売上高の見通しが不透明。【産業用モータ制御装置】
売上低下。【除振台、架台部品製作】
百貨店等の来客が減少して売上が悪化。雇用を維持するので精一杯。【オリーブ】
不況。【シール印刷】
不況感が非常に大きい。受注量が前年に比較すると1/3程度になっており、従業員の給料を補う利益があら。
米中貿易摩擦および新型コロナウイルスの影響による受注キャンセル等。【自動車機械の設計・製作・販売】
米中貿易摩擦の影響による生産の落ち込み。【金属表面処理剤製造】
なくなった仕事はないが、量が減少。【金属表面処理(塗装、パーカー処理)】
問い合わせ減、受注減、売上減。【産業用機械生産設備】
予定が立たない。短ロットの特急品が多い。【工業製品塗装】
労務費、諸経費の増加、売上減少。【プレキャストコンクリート用鋼製型枠設計製造】

建設業
住宅投資の減少により民間工事が減少している。【土木工事業】
コロナの影響により大口工事がなくなった【建具工事業】
コロナの影響による来年度以降の公共工事の発注量の減少を懸念している。【土木工事業】
コロナ影響により売上減少、民間工事減少による競合他社との競り合いによる受注金額の減少【解体工事業】
コロナ禍による民間工事、公共工事の減少。【建築工事業】
コロナ禍の影響。【カーテン】
コロナの影響がさらなるデフレの影響として出てくると思われる。【建設業 サービス業】
ニーズが高級志向になりつつある。【増改築、新築】
改修、新築工事案件の見送り保留による受注減少の不安。【内装仕上工事業、建築工事業】
企業の設備投資の状況が減少。【電気設備工事】
技術者、有資格者の確保。【空調設備工事】
景気低迷により、投資(建築)する意欲が減少してきた感じ。【介護施設建設】
経済の停滞感。【個人住宅 工場 事務所】
建設業は、今の経済状況が反映されるのが来年あたりかと思われる。
建設業は景気の大きな波がある。【管工事、電気工事、建築工事】
建設工事の減少。【鉄骨建方工事】
雇用の悪化(能力不足等)【機械設備】
公共・民間ともに受注が減少してきている。【土木工事業】
公共工事、民間工事ともに減少し、競争が激化している。【総合建設業】

公共工事などの発注が減少している。【電気工事業】
公共工事の低迷。【電気通信施設の設計・施工・保守およびコンサルティング業務】
公共工事は不況のため(新型コロナウイルスの影響から)、この先ターゲットを変えないと会社は存続不可。【空調設備】
工事単価の減少。【鉄骨建築工事】
工事量の減少と仕入単価の上昇による収益率の低下。【配管、電気工事全般】
今期コロナ禍において先行きが不透明。【クロス業】
再度募集はしているのですが難しい。【測量、大工工事業】
在庫商品(分譲宅地)の売れ行きが低迷。【建築工事請負】
仕事の減少。【土木、外構等】
仕事量の減少により受注競争の激化が心配。【外装関係】
仕入単価の上昇と工事単価の下落。【防水工事】
市も県も公共工事を減少させている。民間工事も減少し厳しい。
取引先の工事受注が減少している。【建築リフォーム】
受注が過去最悪の状況。【住宅リフォーム、新築】
受注が減った。【解体業、リフォーム】
受注の減少【外構工事】
受注の減少。【建設業土木一式】
受注済工事の繰り延べが多く、着手目途がたたない。【空調衛生設備】
新規案件の減少【建築設計】
新型コロナウイルスで住宅の計画(施主)が様子見をしているため、受注が難しい。【一般住宅新築工事、リフォーム工事】
新型コロナウイルスによる影響が建設業界にも来ている。【内装工事】
新型コロナウイルスによる工事の中止が多かった。【テナント、工場の間仕切り工事】
新型コロナウイルスによる工事遅延等による採算の悪化が考えられる。【電気設備工事】
新型コロナウイルスのことでリフォームを断られる(住みながら)件。【住宅建築、材木販売】
新型コロナウイルスのために仕事の考え方、行動を変えなければ新しいお客様づくりができません。【エステ、化粧品販売】
新型コロナウイルスの影響。【建築塗装業】
新型コロナウイルスの影響がいつくるか心配している。【造園、土木工事】
新型コロナウイルスの影響がじわじわと長期にわたって出てくると思う。【住宅リペア(補修)】
新型コロナウイルスの影響で工事が遅れたこと。【電気の屋内配線等】
新型コロナウイルスの件と人手不足
新型コロナウイルスの終息へのワクチン開発など早く承認され、感染者激減して経済が動くことに期待しています。【電気工事業】
新型コロナウイルスの流行により感染リスクで収入減。
新型コロナウイルス対策の影響で公共工事費の削減があるのでと不安。【緑地管理】
人材不足により受注数の限界がある。【とび土木工事業、管工事、機械器具設置】
人手不足【住宅リフォーム、エクステリア】
請負一括体制推進による仕事の減少。【屋根工事】
先行きの見えない状況でどう対応していくか。目の前の仕事をしていくだけ。【道路安全施設】
発注元企業の設備投資減少で受注難。【電気工事】
来年度がわからない。読めない。(先細り)【橋梁防護柵、高欄など設置、フェンス製作】
来年度以降の景気悪化が不安です。【造園工事】

小売業・卸売業

緊急事態宣言解除後の回復具合が前年比 70%台で行ったり来たり。夏のイベント関連も全て中止となり売上に影響を与えている。今後も完全に終息するまでこの状態が続くと思われる。【酒類業務用卸】

・ライフスタイルの変化 ・個人消費支出先の変化 ・所得格差拡大 ・不透明 ・競争激化。【衣食住全般店舗販売】

①新型コロナウイルスの先行き見通し、②海外シフト(生産品)を国内に戻す方法、③リニアをストップし、貨物列車を九州から北海道まで。【電子部品】
3月コロナ以後、売上少ない。受注も全然なし。【生花、苗】
4～5月は新型コロナウイルスの影響が多大。6月以降少し戻ったが8割くらい。【寝具(枕、ふとん、ベッド)】
9月まではコロナ以前の大型商談があるが4月以降に大型商談案件が激減している【伝動機器】
SNSを通じたECサイトでの購入に対して、対応していかなければならないと感じています。【化粧品販売】
イベントがないので、出店機会がない。【生ジュース、調理店頭販売】
お客様の減少。【学校用品】
これ以上売上が下がれば考える。【パン製造販売】
コロナウイルス感染症による特需【生鮮品・食品取扱いのスーパーマーケットチェーン経営】
コロナショックによる病院(クリニック)、外来患者の減少と入院患者の減少。【医療用酸素、在宅用酸素】
コロナ禍の影響で景気の下げ傾向が続く。【ボルト、ナット、板金、鋳物他部品の商社】
その日だけではないので、行事(伝統)がなくなったのが痛い。【食品、お酒、たばこ、飲料、お菓子、雑貨小売業】
メーカー、問屋が直接販売で売上減少。【新建材、木材販売】
やはり新型コロナウイルスの影響による社会経済の悪化がすべてです。【ねじ類販売】
営業職不足のため、新規獲得が難しい。【牛乳および飲料品の宅配】
夏季の特需が見込めなかった【酒類飲料たばこ】
家庭用24時間風呂は高額商品(30万円程度)のため、販売が難しい。業務用は、宿泊関係の取引がありの売上予測が難しい。【24時間風呂 販売・施工・メンテナンス】
暇になりそう。【家電販売】
街に出てくる人が大幅に減少。【弁当、惣菜等製造販売】
近頃のコンビニがなくなったので、売上上昇。【コンビニ経営】
個人消費の低迷【自動車販売、整備】
顧客の外出自粛に加え、定例茶会等のイベント中止で、当分売上回復は期待できず。【茶の湯胴部一式の販売】
公共注文の悪化。【医薬品、工業用品、化粧品、雑貨】
好調な業務と不調な業務がはっきりとしている。今後、現在好調な業務が年末に向けて不安定になることが予想されており、現在不調な業務の回復見込みが無いことから、全体的な見通しは明るくない。不調な業務を補えるよう新しいサービスを開始予定。【宝飾品、小売、ネイルサロン、スマートフォン修理、広告デザイン・印刷】
購買意欲、購買力もありながら、商品の供給ができない。商品の入荷がない。お客のニーズを見極めること、アイデアの提供など積極姿勢。【金物雑貨販売】
国や県からコロナの状況下でも営業は継続するように要請されているが、特段の支援策が全くないことに少し不満があります。【生鮮青果物】
今はコロナの影響は特に受けていないが、今後が心配。【コンビニ】
今後、高級品(上物)販売が減少になるかも。【肉の販売】
今年初め頃まで、比較的順調な経営状態だったのが、コロナ禍で激変しました。緊急事態宣言解除後、少し戻った需要ですが、第2波と言われる状況で、帰省需要が消失したのが堪えています。販売不振が、雇用維持負担になっているので、助成金が終る年末以降の需要回復状況が気になります。【米菓】
最低賃金の上昇により予算的に必要人員を確保できない。【コンビニエンスストア】
自動車関連の設備投資に大きく影響されているので、自動車関連の景気に期待。【工業用金属、じゅし、その他製品】
弱肉強食、車で大型店へ、大量仕入優先、小口仕入後回し、雇用最悪状況。【米穀、酒類、食料品、雑貨の小売販売業】
受注が少量になっている。【作業服、作業用品】
受注先の不況→他業種の開拓。
消費の急激な落ち込み【食料品、雑貨、衣料品】
新しい生活様式にマッチした。【コンビニエンスストア】
新型コロナウイルスが原因。消費者が激減。【酒類、タバコ、その他】
新型コロナウイルスが収束されない限り、景気の回復期待薄。【光学レンズ輸出(工業用、医療用)】

新型コロナウイルスで注文が激減。大変です。【花店】
新型コロナウイルスで販売時間短縮のため、売上の低下。
新型コロナウイルスによるイベントの中止等。【和菓子製造販売】
新型コロナウイルスによる影響。【乾物食品販売】
新型コロナウイルスによる夏物商品の不調(花火、ウォーターガン等)。【玩具店】
新型コロナウイルスによる納入先の休業が不安。【青果物卸】
新型コロナウイルスに尽きます。【機械工具運搬機器】
新型コロナウイルスの影響。【アイスクリーム卸販売】
新型コロナウイルスの影響。【酒、たばこ、塩】
新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのかによるため、売上、収益予測が立てづらい。【茶葉、飲料販売】
新型コロナウイルスの影響から先行きが不透明。【地方卸売市場(青果)の運営】
新型コロナウイルスの影響による経済の停滞が不安。【自動車部品用材料卸、輸出】
新型コロナウイルスの影響のため。【金属くずの売買】
新型コロナウイルスの終わりが見えない中、個人消費の低下に考慮。【車両販売、輸出】
新型コロナウイルスの先行き。【金物、キッチン、工具】
新型コロナウイルス感染症の早期収束を望む。【機械工具、伝票要品、切削工具】
新型コロナウイルス関連の感染対策やこれからの拡大防止に経費が必要。【スポーツ用品販売】
新型コロナ問題発生以降、食料品中心に売上は昨年を上回る月が続いていますが、対策費用(衛生・消毒、告知・啓発、が大きく利益を圧迫しています。【衣料品、住まいの品、食料品】
生活様式の変化で洋服の優先順位が消費の中でさらに下がった。【スーツの販売】
直近(令和2年、3年)の経済見通しが難しい。(従業員の採用等で)【家電品販売および工事】
得意先の仕入数量の減少(通常5台が3台など)。【空気圧機器製造、卸売業】
得意先代理店の経営悪化に伴う代金回収の懸念。【介護用食品の開発&販売】
日本国内以外での世界的不況。【健康食品】
売れない。【酒たばこ小売】
売上減。【食肉卸】
売上減。【サプリメント、食肉卸】
売上不振。
販売先の減少が目立ってきた。【建築建設材料販売】
販売品の仕入れ先が少ない。デリバリー部門の縮小。【食料品小売(青果、精肉、鮮魚、酒、パン)】
不安感、雇用、売上不足、どこに誰にわからない。【印章、ゴム印、名刺】
補助金等多額の費用を公的に使われていることで来年以降の増税が心配です。【調剤】
法人(現在)→個人事業者へ→廃業。【作業用品全般】
民間の設備投資への手控えが景気全体を下押しする懸念がある。【電設資材卸売】
来店増加。対前年はオーバーしている。【自動車ディーラー】
労働時間短縮に伴う技術者の不足。【食肉】

飲食業・サービス業
18時以降のお酒利用の大幅な減少による売上減少。【メキシカンレストラン】
6月までに予定していたイベントがすべて中止。売上減少の最大の要因。新型コロナウイルス収束に向けては、復活の可能性あり。現状営業新規活動に重点。【総合広告代理店】
7-9における市況は、外出自粛の緩和により需要層が動き始め好転し始めました。しかしながら、秋以降のコロナ禍の影響により再び好転から減速することを懸念しています。【不動産売買・仲介・管理】
7月以降、新型コロナ感染症の問題で、新規案件が減少、または延期、休止になっているケースが散見される。【ソフトウェア開発、システム構築】
8月に入ってから現場発注が増加の状況である。【非破壊検査業務】
COVID-19 長期化への懸念。【システム運用】
GoTo キャンペーンによる立替金による資金調達が大変。制度がひどすぎる。これでは利益が出ない。【旅行代理店】

イベント(祭り、花火大会、マラソン大会、野外コンサート等)の激減。【仮設トイレレンタル業】
いろいろなイベントがすべて中止になっているので、来店客が少なくなった。【一般理美容】
オフィスに出社しない会社が多いため、オフィスに植物レンタルがいなくなっている。【観葉植物のレンタル業】
お客様の生産減が続き、人員が余剰している。【人材サービス(派遣、請負、職業紹介等)】
お客様を集めることができないので今のスタイルの限界を感じている。【カフェ】
お客様を含め全体的に、例年だと既に配属されて OJT を行っている新人が今期は余っているし、教育されていない。オンラインでの教育の難しさ、今後弊社の様な下請けの小さな会社は新人配属がより難しくなりそのような気配を懸念している。【ソフトウェア開発】
クライアントの不振。
この先、新型コロナウイルスの状況による。【やきとり、から揚げ専門】
これから、冬に向かってコロナウィルスの感染が増加して、さらに消費が低迷していく事がとても心配です。また、この状態がいつまで続いていくのか、先が見えないのが不安です。【美容室の経営】
これから上昇。【学習塾】
コロナウィルスによる影響が依然として続いている。【貸し室業】
コロナウィルス感染拡大防止の社会の意識が目に見えて低下していると危機感を感じています。特にマスクに関しては熱中症対策という大義名分があり着用率が低下しているのですが、直接エンドユーザーに接する仕事としては注意も難しく、非常に怖い思いをしています。数人の零細企業である当社では、コロナが発生した場合、濃厚接触などの関係で一気にほぼ全員が2週間も休むことは想像するのも恐ろしい事態です。【鍵、防犯】
コロナコロナうるさい。【靴、鞆の修理】
コロナと総理交代が重なり先行き不透明。【不動産売買、仲介、管理、保険代理店】
コロナによる影響は、かなりのダメージだ。このまま長引くようなら、先のことを考え直す必要がある。【蕎麦、酒類、その他料理】
コロナによる景気の悪化【生損保代理業】
コロナの影響が収まりつつあり、年末に向けて事業拡大の準備をしておくのが望ましいと感じる。【販売に関するコンサル業務】
コロナの影響で、じわじわと受注が低迷してきている。【建設資材賃貸】
コロナの影響で、元請け業者の営業の動きが消極的になってしまっているようです。また、商品の展示会なども開催されず、毎年定期的にある売り上げに影響しています。【セキュリティ収納の組立・システム設定調整】
コロナの影響でイベント等が中止となり、イベントに関連する仕事が無くなっている。【サイングラフィック・看板デザイン制作】
コロナの影響で団体旅行などが一切なくなり売上0が続いている。来年度のオリンピックでは仕事を受注しているが、オリンピックの開催を含めて今後の受注の見込みがたたない。【貸切バス】
コロナの影響により外部委託を受けていた業務が一時的に止まったため、売り上げが下がった。【犬のしつけ・訓練】
コロナの終息。【居酒屋】
コロナ禍。【自動車部品】
コロナ禍で飲食店、パチンコ店などのスポンサーが減少している。【屋外広告看板】
コロナ禍で外食新規出店不可。【不動産仲介】
コロナ禍で先が見通せない。【不動産管理】
コロナ禍により、見通しが予測できない。【金融業】
コロナ禍によりイベント、宴会禁止令が売上不振に大きく影響している。【中華料理と酒類】
コロナ禍の影響がどこまで続くのかわかりません。
コロナ禍の影響で来客数の減少。【金券売買、趣味品(切手、カード、古銭)売買】
コロナ禍の状況いつまで続くのか不安。【一般乗用旅客自動車運送事業】
コロナ禍の先行不透明感。【珈琲専門店】
コロナ禍の中、利用者又は従業員のいずれか一人でも陽性者が出た場合、事業を一時休止せざるを得ないので、コロナに対する対応が大変厳しい状況が続いている。
安心して事業に進出出来る日が早く来ることを願っています。【訪問介護】
ご家族でお食事には来るが、遅くまで飲むお客様が減った。団体客の減少。【焼肉、韓国料理】
デジタルソリューションの真価がとてつもなくすすみ、一般の方が適応に遅れる。【飲食サービス、酒類販売】

テレビ、メディア影響による人害での景気悪化。【居酒屋】
テレワークなど、新しい生活様式にどこまで対応するかについて考えさせられている。【ソフト開発】
テレワークの急速な導入に伴うひずみ(人間関係構築の難しさなど)【ソフトウェア製造】
ネットを通じて、これまで商圈に設定していた最寄り駅周辺ではなく車や電車等で来るお客様が増加した【理容業】
パンデミックに対する対策。【訪問介護、居宅介護支援】
まったく先が見えず不安である。【イタリア料理店】
まとまった注文一切なし。【注文弁当】
リモートでの就業が広がっているのか、今までの売上が難しいと思っていたような場所の物件でも動きがある。【不動産売買、不動産仲介】
飲食関係・メーカー他、全ての業種がコロナの影響で業績悪化が見込まれる中、看板(広告費)にお金がかかれない状況になってきている。【屋外広告業／看板製作・製造、看板製作(製造業)、看板設置(建設業)】
宴会客が戻らない。【中華レストラン】
夏の時期はコロナがあっても外に出る状況になる(バーベキューなど)が多かったため、ヒトの出入りがあり、売上にひびく(減少に)ことはなかった。【移動販売にてスペシャルティーコーヒーを販売】
会社の資金繰りのため、自社不動産の売却が増加している。【不動産仲介、コンサルタント】
外出を控える方が多い。【美容業】
技術力、人材能力の低下が顕著であり、なげかわしい。【会計事務所】
客の減少。【便利屋業】
客先の開発案件が減少しているため、ソフトウェアの発注量も減少している。【ソフトウェアの受託開発】
客単価の減少。来店減少。ネット反響増加。【売買仲介】
急激な需要増により人員不足となり、臨時採用をしているため、例年よりコスト増になっている。【医療、検査、福祉サービス】
給付率の低下に新型コロナウイルスによる休みのダブルパンチ。【介護、デイサービス】
景気、雇用共に悪化。
景気感は、徐々に好転の兆しが見えるが、不景気が長いので、取り戻すまでに時間がかかりそう。雇用は問い合わせはあるが、長く続かない。【広告代理業(ポスティング)】
景気感は悪化傾向にある。【銀行業】
景気先行きの不透明感【改善を通じた人材育成の支援】
健康に対する意識の高まりを感じます。【接骨院】
個人消費減少による収益悪化。雇用減の恐れ。【ビルメンテナンス】
雇止め等。【保証業務】
雇用のミスマッチ、過剰な補助金。【税務、会計】
雇用の見通しがたたない。【建築物清掃】
雇用の不良。売上の安定。【社会保険労務士、生命保険業】
雇用状況。【引越業 家電配送】
雇用状況悪化。【訪問介護】
顧客となる中小企業の倒産、廃業数増加。【社会保険労務士業】
顧客の減少。1組当たりの人数の減少。客単価の減少。【レストラン】
顧客の消費状況の悪化。
回復の兆しが見えない。【接待】
顧問の値下がり。【会計事務所】
顧問先の新型コロナウイルスの影響が痛い。【税理士業】
公共事業、発注が1～2か月ズレている。打合せ等が遅れがち。【航空写真測量】
公共事業の減少。【電気保安管理事業】
講習会等の減少。国民がメディアに踊らされすぎ。新型コロナウイルスを恐れすぎ。【フォークリフト】
今のところ新築は大手はそう影響がないようですが、中小はリフォームも含めてかなり減少してきているようです。【新築、改築シロアリ消毒および一般害虫駆除(ネズミ、ハクビシン、スズメバチ)、防カビ】
今季より経営をはじめたのでよくわからない。【酒を含む飲食物の提供】
今後の景気動向に関心があり、不透明感がある限り上昇雰囲気を感じることはないかと思われる。【情報処理サービス業】

今後の新型コロナウイルスの影響。【インキュベーションセンターの運営】
催事、イベント等が全くないため、その仕事がなく苦しい。【一般】
仕事が少ない。【広告代理業】
仕入単価がほぼ上昇傾向。来院頻度の低下。【動物病院】
資金繰り【システム開発】
資金繰りは金融機関が積極的融資。新型コロナウイルス対策の特別融資があり、特に資金繰りが切迫している話は聞かない。【会計業務】
事業の性格上特に変化ない。しいて言えば工事関係が先送りになるケースも若干あるが不備改修がメインなのでそのままの状態にしておけない内容がほとんどで、工事関係もほぼ影響なし。【消防設備点検消防設備関係工事】
持続化給付金の再支給(売上規模による)および家賃支援の継続および直接的な支援の実施。【婚礼、宴会、宿泊、レストラン、出張料理、ボウリング】
自らの体調不良が心配である。【登記】
自粛の影響により毎年のイベントがすべてキャンセルとなりました。年度内は見直し立ちません。ワクチン開発や治療法の確立まで難しいと考えています。【音楽教室、イベント、パーティーなどの演奏】
自粛中でも今できることをしながら、次の準備も含めて仕事をしています。【土地、建物売買、仲介、管理】
自動車関連T社、S社は回復の兆しは感じますが、I社、N社は先行きが不明な点が心配です【構内請負・人材派遣業】
実運送をしているのでテレワーク等は全く無理です。コロナ対策は自分たちで気を付けるだけ。BtoBの輸送なので、売上減少はどこまで続くか本当にわからない。【機械部品、一般雑貨】
実体経済と株価の乖離。【税理士事務所】
車の修理、整備費用まで出せない。
受注の減少。【建築用資材】
受注量の減少。【毛肉設計】
従業員の高齢化。
小売、サービス(イベント等)が特に悪い。【経営コンサルタント(中小企業診断士)】
消費者の活性化が乏しい。【貸室】
消費者の買い控え、購買意欲の低下による。【売買、仲介、管理】
消費者状況。【商業ビルの管理運営】
消費税を凍結(廃止とまではいいません)すべきだと思います。【会計事務所】
心理的にも実体的にも費用削減が徹底されてきている。【情報通技術サポート業、コンサルタント業】
新型コロナウイルス。【宅配】
新型コロナウイルス。【クリーニング一般】
新型コロナウイルスが感染しやすい業種と言われている。【理容】
新型コロナウイルスで学校関係遠足がなくなったこと。【長期滞在ビジネス】
新型コロナウイルスで客激減、8月は70%(昨年対比)くらいまで戻る。消毒関係費増大。
新型コロナウイルスで計画を延期するまたは中止する顧客が増えてきている。【産業廃棄物処理業、解体業】
新型コロナウイルスで先行き経済の落ち込みが見込まれると感じます。大企業が内部留保金を行って雇用消費向上に一石を投じないと不況は必ず来ると感じております。【建築設計、監理、積算業務、建物等移転補償コンサルタント業務】
新型コロナウイルスで退職せざるを得なかった人もいるはずなのに、求人にも応募が全くない。【資源循環業】
新型コロナウイルスで売上減少。【鍼灸、整骨】
新型コロナウイルスにより、ご入居者様の健康面。【介護】
新型コロナウイルスにより客数減少。【理容】
新型コロナウイルスにより先行き不透明。【行政書士、社会保険労務士】
新型コロナウイルスにより来店客の減少。【美容業】
新型コロナウイルスによる営業不振。【医療福祉、人材紹介】
新型コロナウイルスによる影響大。【人材派遣】
新型コロナウイルスによる諸影響【エンジン、ターボチャージャーの設計等】
新型コロナウイルスによる不況。【訪問介護】

新型コロナウイルスによる輸出の減少。【梱包業】
新型コロナウイルスによる来店者の減少(特に夜間)【飲食店営業、不動産賃貸管理】
新型コロナウイルスに対して今後、国、県、市などの助成金があるのか？【理・美容業】
新型コロナウイルスのせいで外出を控え、外出用の衣服を身につけず、サラリーマンは自宅で仕事をしていますので、クリーニングするYシャツやスーツなど出してくれません。とにかく暇です。【一般衣服クリーニング】
新型コロナウイルスのため、景気悪し。【建物管理サービス】
新型コロナウイルスの影響【一般旅客自動車運送事業】
新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか見通せず、景気マインドが上がりそうもない。
新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか不安。【そば、うどん、和食】
新型コロナウイルスの影響がこれからでてくるのでは。【ソフトウェア業】
新型コロナウイルスの影響がまだ読めない。【油圧機器の修理、保守】
新型コロナウイルスの影響が何年続くか心配です。【建築設計】
新型コロナウイルスの影響が甚大。【海外引越業】
新型コロナウイルスの影響が長引くことによる売上不振。【鍼灸マッサージ業】
新型コロナウイルスの影響が非常に大きい。【墓石清掃、墓石クリーニング、墓石コーティング、石柙特殊清掃】
新型コロナウイルスの影響が非常に大きく、営業スタイルの変化に対応していかなければ。アルバイトの動向も不安定。【飲食店(ラーメン)】
新型コロナウイルスの影響で一部物販およびサービス業種が売上不振。【ショッピングセンター運営管理業務】
新型コロナウイルスの影響で飲食店の売上減少。家賃引き下げ、廃業により売上減少。【不動産管理】
新型コロナウイルスの影響で現場減少。売上減。【ビルメンテナンス業(設備管理)】
新型コロナウイルスの影響で社会全体が悪化している。【金融業】
新型コロナウイルスの影響で先が読めない。【廃棄物処理業】
新型コロナウイルスの影響で中国からの発注が滞った。【デザイン、イラスト】
新型コロナウイルスの影響で展示会やイベントが軒並み中止になっている。【企業の展示会出展における総合サポート】
新型コロナウイルスの影響で来店回数が減っている。【理容業】
新型コロナウイルスの影響により売上激減。資金繰りの悪化。【コンサート制作、運営】
新型コロナウイルスの影響による客先景気の変化。【人材派遣業】
新型コロナウイルスの影響による取引先の経営不振は当社の売上減に連動する。【税理士業】
新型コロナウイルスの影響はあまりない業態ですが、それでも多少の影響はあります。【ビルメンテナンス】
新型コロナウイルスの影響は大きいです。【社会保険労務士業】
新型コロナウイルスの影響大。【非鉄貴金属リサイクル処理業】
新型コロナウイルスの感染拡大による利用者の通所への影響が心配である。【障害福祉サービス事業】
新型コロナウイルスの関係【自動車倉庫設備等のメンテナンス】
新型コロナウイルスの関係で先が不透明。【分譲住宅企画販売、売買仲介、賃貸仲介、管理、子育て施設運営】
新型コロナウイルスの関係で舞台関係仕事が今後どうなるか心配。【写真業】
新型コロナウイルスの終息はいつ？新しい生活様式に希望が見えない。【陶芸教室、陶器制作】
新型コロナウイルスの中でこの業界(イベント)への支援がない。【イベント企画、器材レンタル、音響・照明】
新型コロナウイルスの直接的、間接的影響が不気味、不透明。現状静観。【物流代行】
新型コロナウイルス影響もあり、人の集まる講習会のチャンスが少なくなった。【人事労務コンサルタント】
新型コロナウイルス感染したら営業できない。【理美容業】
新型コロナウイルス感染症によるテナントの撤退や賃料減額により、売上が減少している。【不動産賃貸管理】
新型コロナウイルス感染症による消費急減はL字回復の見通し。【プレス関係技術コンサルタントおよびISO管理支援】
新型コロナウイルス感染症の影響大。【貸自動車業】
新型コロナウイルス感染症の関係で、先読みができない。積極的な新規開拓が難しい。【ソフトウェア開発、

システム構築】
新型コロナウイルス感染症長期化に伴う日本経済の不況感。【中小企業金融】
新型コロナウイルス感染不安による営業活動等の自粛。【清掃用品レンタル】
新型コロナウイルス感染防止のため、客数制限による売上の減少。【美容室】
新型コロナウイルス対応が難しい。【自動車分解修理事業者】
新型コロナウイルス不景気、販売先の景気感。【餃子専門店、テイクアウト】
人の移動の制限により賃貸顧客の減少。住宅需要の先行きが不安。【住宅用宅地分譲、不動産売買の仲介、賃貸管理業】
人材サービスとして人材派遣の需要の落ち込みは激しい。逆に人材紹介(正社員)に関しての需要は増加しているもののスキルマッチした人材の確保が困難な状況。【人材派遣、人材紹介、アウトソーシング・登録支援機関・求人サイト運営】
世の変化への対応。【カーメンテナンス、カーコーティング】
世界的にコロナの影響で全てが落ち込む。今のところ状況変化の期待は薄く次年度の新規開発(医療器用内視鏡)に全力投球。【医療機器用光学レンズ(内視鏡、デンタルカメラ等々)工業用光学レンズ(半導体機器、レーザー機器等)】
成年後見の報酬決定の遅れ。(新型コロナウイルスの影響で2か月裁判所が機能停止したため)【相続、遺言、成年後見など】
生活に追われてゆとりがない人が多いため、講演の依頼がない。【研修講師】
製造業における受注状況および小売業、飲食業における売上状況。【労務コンサルティング】
税金の支払いがづらい。【自動車整備、販売】
設備投資の減少。得意先の取組の影響のため売上減少。【機械部品、鋳物】
設備投資減に伴う受発注の減少。【福祉用具のレンタル、販売】
先行きが見えない。【一般貨物】
先行きが不透明。【こん包業】
前からあまり儲かっていないので、変わらない。コロナのピンチをチャンスに変えてアップしたい。【福利厚生、不動産投資、ブランドリボン販売】
全体的に不況のためと人手不足。【産業機械修理業】
相手先企業の景気悪化(コロナの影響)。【ソフトウェアの開発と販売】
単なる清掃作業ではなく、除菌清掃という作業に需要がある。【ビルメンテナンス業(清掃、設備保守)】
中小企業への給付金をもう一度行ったほうが良い。これからの倒産が増える可能性が高い。【広告、印刷業】
昼時間の客足は戻ってきた。夜の会食、パーティーがないのがきつい。【洋食】
冬に向けてさらに売上減少。【ホテル】
当社は9月決算のため、10月～3月よりも4月～9月期のほうが注文数が増えています。【浄水器のレンタル業】
特になし。【行政書士】
売上が落ちる中、消費税等の税金類を支払、機械が壊れ支出が続く。不安。【動物病院】
売上高減少、予算縮小の為、整備(定期)減少【エアコンプレッサーの販売・整備】
漠然とした心理的不安がさらなる社会不安と景気の悪化に繋がっている。皆が皆、今は動かない、動けないと呪縛にかかっている感じ。【廃棄物処理再生資源卸売】
不況です。来店客の減少。【美容技術一般】
不況感。【保険代理業】
不況感あり。業界の過競争。【生損保代理業】
不況感が強まっていると感じる。【自律移動ロボットの試作開発、受託開発協働ロボットのシステムインテグレーション他】
不況感でお客様が来ない。【定食店】
不景気感。【保険代理業】
不動産の賃貸借取引においても新型コロナウイルス禍による環境変化における消費者および顧客がかなり借りることにしても慎重になり、決定、結論、結果が出るのが遅くなってきております。また、最近になり家賃支援給付金受領の支払振込が増加してきております。【不動産管理業、仲介斡旋、売買等】
募集しても求人が来ない。【ビル、ハウスクリーニング】
密を避ける。【バス】

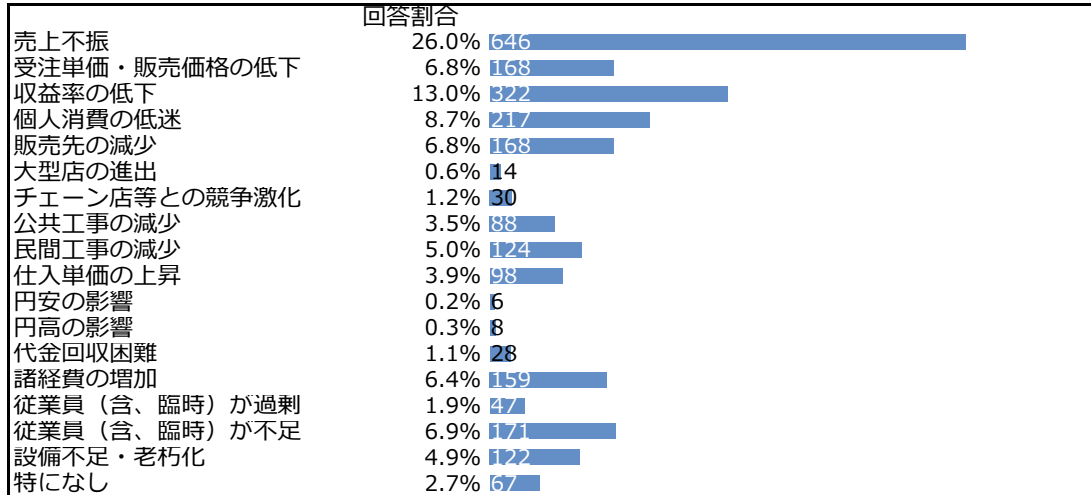
来客のサイクルが伸びる。回数が減少。【美容業】
例年と変わらず。【ポンプ、モートル、送風機、修理販売】

※いただいたコメントは、原文のまま掲載させていただいております。

経営上の問題点

単純集計

経営上の問題点(3つまで回答可、n=1,059)



製造業

今回調査を見ると、「売上不振」が引き続き増加した。一方で、「仕入単価の上昇」「従業員が不足」の減少が目立つ。製造業では新型コロナウイルス感染症の影響で売上の不振が本格化しており、人や物の動きが滞っている状況が推察される。

	R1年7～9月期 n=267	R1年10～12月期 n=251	R2年1～3月 n=244	R2年4～6月 n=308	今回調査 n=264
売上不振	21.0%	21.8%	27.2%	32.1%	34.3%
受注単価・販売価格の低下	8.4%	7.1%	7.9%	8.4%	9.0%
収益率の低下	11.8%	12.4%	12.4%	17.3%	17.4%
個人消費の低迷	2.0%	1.6%	4.1%	2.9%	3.4%
販売先の減少	3.7%	4.4%	6.8%	7.9%	7.7%
大型店の進出	0.2%	0.4%	0.2%	0.0%	0.2%
チェーン店等との競争激化	0.2%	0.4%	0.2%	0.0%	0.2%
公共工事の減少	1.2%	1.4%	1.6%	1.4%	1.6%
民間工事の減少	1.2%	1.1%	2.0%	2.6%	3.3%
仕入単価の上昇	12.6%	11.9%	7.5%	3.9%	2.6%
円安の影響	1.5%	0.5%	0.0%	0.4%	0.5%
円高の影響	1.5%	0.2%	1.6%	0.6%	1.0%
代金回収困難	0.3%	0.5%	0.7%	1.1%	0.5%
諸経費の増加	8.1%	7.8%	7.2%	5.0%	4.6%
従業員(含、臨時)が過剰	1.2%	0.7%	1.1%	3.6%	3.4%
従業員(含、臨時)が不足	11.4%	11.0%	6.6%	6.1%	3.8%
設備不足・老朽化	10.9%	13.1%	9.0%	4.6%	5.3%
特になし	2.9%	3.6%	3.9%	2.2%	1.1%

経営上の問題点（業種別）

建設業

「民間工事の減少」が多いことに加え、「公共工事の減少」が増加した一方で、「売上不振」「個人消費の低迷」が減少している。民間需要の減少は下げ止まったものの民間・公共ともに受注量が少なく、厳しい状況が業界全体に広がった状況である。

	R1年7～9月期 n=188	R1年10～12月期 n=184	R2年1～3月 n=175	R2年4～6月 n=214	今回調査 n=184
売上不振	9.1%	7.9%	12.7%	19.0%	16.6%
受注単価・販売価格の低下	7.5%	6.2%	8.9%	10.4%	9.9%
収益率の低下	12.4%	12.7%	10.0%	12.6%	10.3%
個人消費の低迷	2.6%	2.9%	6.2%	7.4%	4.1%
販売先の減少	2.1%	2.2%	2.9%	4.1%	3.4%
大型店の進出	0.0%	0.7%	0.2%	0.6%	0.6%
チェーン店等との競争激化	0.7%	0.5%	0.0%	0.0%	1.3%
公共工事の減少	6.1%	7.7%	7.9%	8.9%	12.0%
民間工事の減少	8.2%	7.7%	11.5%	15.2%	15.1%
仕入単価の上昇	11.4%	11.2%	9.1%	3.5%	4.3%
円安の影響	0.5%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%
円高の影響	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収困難	1.4%	1.7%	0.5%	1.1%	1.5%
諸経費の増加	10.5%	10.3%	8.6%	5.5%	4.9%
従業員（含、臨時）が過剰	0.2%	0.5%	0.0%	0.4%	0.6%
従業員（含、臨時）が不足	21.3%	20.6%	16.3%	9.2%	11.8%
設備不足・老朽化	2.1%	2.9%	1.9%	0.7%	1.7%
特になし	3.3%	4.5%	3.3%	1.3%	1.7%

小売業・卸売業

前期に減少した「仕入単価の上昇」が増加に転じた。前期に増加した「売上不振」「販売先の減少」が減少し、今年1～3月期の状況にやや戻りつつある。しかし今年は食品スーパーが好調である一方、夏の休暇・イベント関連の商品が不調となり、業種による差が大きい。

	R1年7～9月期 n=174	R1年10～12月期 n=148	R2年1～3月 n=164	R2年4～6月 n=199	今回調査 n=167
売上不振	20.2%	17.2%	22.0%	27.0%	24.1%
受注単価・販売価格の低下	4.7%	5.0%	3.6%	5.4%	4.2%
収益率の低下	9.4%	9.4%	11.7%	12.6%	12.2%
個人消費の低迷	14.4%	16.9%	17.7%	18.0%	16.2%
販売先の減少	9.4%	8.1%	7.6%	13.4%	9.0%
大型店の進出	2.8%	3.6%	3.1%	1.2%	2.0%
チェーン店等との競争激化	4.5%	3.9%	3.6%	0.0%	2.2%
公共工事の減少	0.2%	0.6%	0.5%	0.6%	1.2%
民間工事の減少	0.7%	1.1%	1.7%	2.4%	2.5%
仕入単価の上昇	8.5%	11.1%	7.2%	4.0%	7.7%
円安の影響	0.5%	0.3%	0.2%	0.4%	0.5%
円高の影響	0.5%	0.6%	1.4%	0.2%	0.2%
代金回収困難	0.7%	0.6%	1.7%	0.6%	1.2%
諸経費の増加	8.2%	6.1%	7.4%	4.4%	4.7%
従業員（含、臨時）が過剰	0.0%	0.3%	1.0%	0.6%	1.7%
従業員（含、臨時）が不足	8.0%	6.4%	5.0%	5.2%	3.7%
設備不足・老朽化	4.2%	6.1%	1.9%	2.4%	3.5%
特になし	3.1%	2.8%	2.9%	1.6%	3.0%

経営上の問題点（業種別）

飲食業・サービス業

「売上不振」、「収益率の低下」、「個人消費の低迷」が減少し、「従業員が不足」も減少した。一方で「諸経費の増加」が増加した。コロナウイルス感染症による景況の悪化がやや戻りつつあるが、感染症対策による諸経費の負担が増えていることがわかる。

	R1年7～9月期 n=462	R1年10～12月期 n=416	R2年1～3月 n=417	R2年4～6月 n=498	今回調査 n=444
売上不振	14.9%	15.4%	20.5%	27.1%	26.1%
受注単価・販売価格の低下	5.7%	4.4%	4.5%	5.4%	5.0%
収益率の低下	12.0%	11.8%	13.6%	13.1%	11.8%
個人消費の低迷	5.9%	8.1%	13.4%	13.4%	11.1%
販売先の減少	4.5%	5.0%	5.6%	8.4%	6.9%
大型店の進出	1.1%	0.4%	0.6%	0.3%	0.2%
チェーン店等との競争激化	2.5%	2.8%	2.3%	0.0%	1.4%
公共工事の減少	0.7%	1.3%	1.1%	1.1%	1.7%
民間工事の減少	0.8%	1.2%	1.5%	2.3%	2.4%
仕入単価の上昇	7.9%	8.7%	4.7%	2.5%	3.1%
円安の影響	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%
円高の影響	0.7%	0.1%	0.5%	0.3%	0.1%
代金回収困難	1.2%	1.2%	1.1%	2.2%	1.3%
諸経費の増加	11.7%	12.3%	8.8%	6.5%	8.8%
従業員（含、臨時）が過剰	0.9%	1.1%	1.3%	1.6%	1.6%
従業員（含、臨時）が不足	14.8%	14.0%	10.9%	8.4%	7.7%
設備不足・老朽化	7.5%	7.1%	5.3%	3.7%	6.8%
特になし	6.9%	4.8%	4.2%	3.6%	4.0%